

自主検査（インサート吊り+在来天井）

工事名	
施工期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日

ゼネコン		検査日	令和 年 月 日		検査員			
施工会社								
材料メーカー	㈱佐藤型鋼製作所							
工程	管理項目	測定方法	測定頻度	管理許容値	異常時の処置	検査確認チェック	検査実施年月日	備考欄
材料受入れ	① 鉛直固定E4分とデッキプレート（コンクリートスラブ）の間にすき間が無い。鉛直固定E4分は専用ビスSDF22 8本で留めているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図①
鉛直補強材・ブレースSLGB-45の取付け	② 斜め固定O用補強板が斜め固定Oの内側にセットされているか。 斜め固定Oがデッキプレート又はコンクリートスラブに隙間なく取付けてあるか。 斜め固定Oと斜め固定NがM16ボルト・ナット・SWでゆるみなく固定されているか。 斜め固定NとブレースSLGB-45が専用ビスSDF22 6本で留められているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図②
吊ボルトの取付け・X方向角形鋼SLGB-100を1~2本取付け（レベル出し）	③ 1/2吊ボルトがゆるみなくインサートに取り付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			
X方向補強材の取付け・X方向補強材ジョイント部の取付け	④ 1/2長ナットで1/2吊ボルトを接続する場合、吊ボルト同士がゆるみなく取付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図③
	⑤ t6座金を締め付けるナットは1/2Wナットで留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図④ 図⑤
Y方向補強材の取付け・Y方向補強材ジョイント部の取付け・X方向補強材とY方向補強材の留め付け	⑥ ブレースと斜め固定K65又はK100がビス留めされているか。斜め固定K65又はK100がX方向又はY方向補強材にビス留めされているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑥ 図⑦
X及びY方向ブレースをX及びY方向補強材に取付け	⑦ 斜め固定K65又はK100の先端とt6座金のクリアランスが10mm以内になっているか。	目視・実測	工区毎	10mm以内	修正			図④ 図⑤
X方向水平材の取付け・レベル調整 X方向水平材ジョイント部の取付け	⑧ 角形鋼をつなぐジョイント金具は両面からかぶせているか。M12ボルト・ナットが確実に締め付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑧ 図⑨-1 図⑨-2
	⑨ 直交固定金具が隙間なく取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑩ 図⑪
Y方向水平材の取付け・Y方向水平材ジョイント部の取付け	⑩ 100BOXハンガーに補強板が図⑩のように取付けてあるか。100BOXハンガーと角形鋼がビスで固定されているか。 レベルは所定の高さになっているか。	目視・実測	工区毎	特になし	修正			図⑫
Y方向水平材とX方向補強材の留め付け	⑪ 1型100用3分①と②が4本のビスで取付けられ、3分ナットがゆるみなく締め付けられているか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑬
	⑫ 全ての金具が所定のビスの本数でしっかり留め付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			
	⑬ レベルは所定の高さになっているか。	実測	工区毎	10mm以内	修正			
1型100用3分・3/8吊ボルトの取付け	⑭ X・Y方向角形鋼と壁との隙間は50mm程度になっているか。	目視・実測	工区毎	50mm程度	修正			
	⑮ 耐震ハンガーのナット及び締め付けボルトの締め忘れはないか。 耐震クリップの締め忘れはないか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑭-1 図⑭-2
在来天井下地組みレベル調整	⑯ 野線のジョイントの位置は互いに1m以上離し、千鳥状に配置されているか。 Cジョイントはビス留めされているか。 レベルは所定の高さになっているか。	目視・実測	工区毎	特になし	修正			図⑮-1 図⑮-2
ブレース受け材（野線方向ブレース用）の取付け	⑰ ブレース受け材は野線受Lで専用ビスSDF22 4本で取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑯
ブレースの取付け	⑱ 板付きナットとスマートギヤロックとの間は隙間なく取付けられているか。 ブレース下端部はブレース1本につき、専用ビスSDF22 2本で留めているか。 ブレースとブレースは近接して取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑰ 図⑱
天井ボード貼り	⑲ ハグロック（野線すべり防止金具）は野線受け方向に4ヶ所、野線方向に6ヶ所取付けてあるか。	目視	工区毎	特になし	修正			図⑲